



1381 4年2組「ふつとうの時の泡の正体は？」11/8

○ 私は4年生になるまで、家でうどんとかラーメンをゆでる時に、ふつとうの泡の正体を空気だと思っていました。前の理科の時に「水じょう気」を習った時に、「ふつとうの正体は水じょう気かも」と思いました。

今日の実験で、小さいころからまちがっていたんだなあと思いました。Aさん

★ この感想はいい！うどんやラーメンをゆでる体験を思い出して、実験を振り返っています。私も子どもの時、Aさんと同じことを思いました。

○ この実験ですごいと思ったことがあります。ビーカーの水をふつとうさせた後でよく見ると、水が水じょう気になって、空気中に出て行って少し水がへっていました。Bさん

★ 前の実験の復習ができましたね。

○ 実験する前に予想をしました。私たちがいいは「空気」で、私たちの班は「水じょう気」でした。水じょう気で正解でした。実験で、ふくろはふくらみしました。Cさん

★ 1組の班予想は6班全て「水じょう気」。2組の「水じょう気」は1班だけでした。

○ 水の中で、水じょう気になっていくのをはじめて知りました。ふつとうすると、ビーカーが白くなったのがすごかったです。Dさん



1382 4年1組「水を凍らせていくと」11/8

水を凍らせる時の様子を観察する実験。温度計で0℃以下の温度を読む練習です。

過冷却の実験もかねました。「水が凍る温度より温度が下がっても静かにしていたら凍らない。そこで衝撃を与えれば一瞬で凍る」の実験、騒いで机がゆれると失敗します。1組は2班が○。3班は△。

○ こおるしゅんかんを、ぐうぜん見られたので、うれしかったです。Eさん

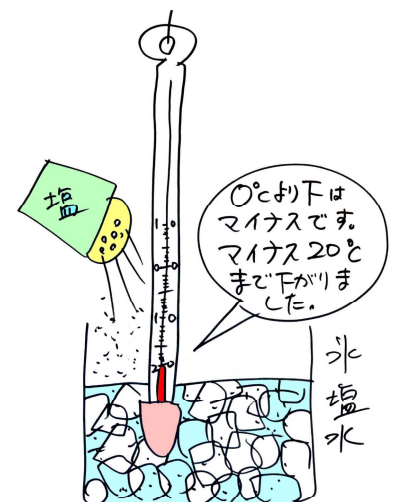
○ 水をひやしていくと、そのままこおると思ったら、しんどうをあたえたら、いっしゅんでこおりました。すごかったです。Fさん

★ Fさんは「一瞬で凍ってすごかったです。」と感動を伝えてくれました。

○ しけんかんをとるまでは調子がよかったけど、とるときにこおってしまい、くやしかったです。Gさん

○ 氷に塩をいれるだけで、こんなに早く水がこおるのかと、びっくりしました。Hさん

○ 水はこおったけど-10℃までいけたのが、すごかったです。Iさん





1383 6年「地面の下はどうなっているか」11/12

- 地層のことを勉強するのが少し楽しみに
なりました。がんばります。Aさん
- つぶは、最初は「れき」が一番小さいと
思いました。「どろ」でした。Bさん
- 今日、班で協力してできました。続けた
いです。Cさん
- 土のつぶの大きさと色がちがうのは、
びっくりしました。Dさん
- 火山灰がでてきて興味をもちました。Eさん
- 私は今日、班の人と協力してできました。きれいにノートをまとめられました。Fさん
- 2さつ目のノートになったので、しっかりきれいに書けました、Gさん
- 大きいつぶほど早くしずむことが分かりました。「どろ」は「ねんど」と同じようなさわり
心地でした。Hさん
- ★ 「どろ」より粒が小さいのが「粘土」。粘土は0.002 mm以下の粒です。
- 水中に土砂を入れると大きいつぶから小さなつぶまで、きれいに落ちていきました。Iさん
- 砂を水に入れる実験をして、とても楽しかったです。ホワイトボードの答えは全て○だったので、とてもうれしかったです。Jさん
- 地面の下のもようがおもしろかった。実験の時は協力してできました。続けます。Kさん
- ★ 支援員の石川みゆき先生から聞きました。「2回目の土砂を入れる実験の後、△さんがピンを
振って混ぜようとしてました。混ぜりませんでした。一瞬で土は固まるんですね。」そうなんです。

「どろ」をさらに分類され、
一番小さいものを「ねん土」
と言います。

1384 「チリメン・モンスター」11/12

「今日の給食のチリメンの中に、こんなのが入っていました。」

鶴井先生が、見せに来てくれました。

「え～！、面白い！」

「一応、理科の先生にも見せようと思いました。」

「小さくて形がきれいですね！」

「右からサバ、タツノオトシゴ、イカ、ヒトデ、
ジャコです。」

給食の大量のチリメンから、ていねいにチリ
メンでない物を取り除いています。大変な手間です。
チリメンはイワシの稚魚をゆでて干したものです。





1385 4年「水をこおらせていくと」11/12

- さいしょのれんしゅうの時、ちょっとしっばいしました。でも、いちおうできたので、うれしかったです。本番ではできたのでよかったです。しけんかんを氷から出すしゅんかんにこおりました。Aさん
- 二つの実験ができて楽しかったです。実験で温度は1℃ばかりでした。最後いっしゅんでこおったのでよかったです。Bさん
- 塩を入れたら凍りやすくなるのを知りました。Cさん



1386 3年「虫メガネで紙に穴をあける」11/13

- 虫メガネをべんきょうして、紙にかおをかきました。口のところが、とてもむずかしかったです。Dさん
- 虫メガネで黒いかみにあなをあけました。虫メガネと黒いかみを太陽と同じむきにすることがわかりました。Eさん
- さいしょ穴をあけられなかったけど、こつをつかんで穴をあけたのでうれしかったです。Fさん
- あなをあけて「GGG」とほりたかったけど。「GG」としかほれませんでした。Gさん
- むずかしかったです。目をはなしたしゅんかんに手がこげないかしんぱいになりました。何もおこらなかつたのでよかったです。Hさん
- がんばってじょうずにできて、びっくりしました。今日のことを、お母さんに話したいです。お姉ちゃん、おじいちゃん、おばあちゃんにもおしえて、いっしょにやりたいです。思い出になりました。Iさん
- かおやハートのかたちことができました。かおはドラキュラみたいになりました。Jさん
- さいしょ、田中先生のおてほんを見て、「かんたん」と思いました。けれど、できませんでした。先生におしえてもらったとおりにやってもできませんでした。Kさんの虫メガネとこうかんしてもらったらできました。Lさん
- あつめた光のかたちは。（*小さく）まるいほうがやけやすいと思いました。Mさん
- かがみではね返した光を虫メガネで集めて紙をもやすことができるのかな。Nさん
- ★ できます。でも鏡も虫めがねも、使い方を間違うと目を痛めたり火事になります。燃やす実験は子どもだけでしてはいけません。

目をそらしても大丈夫。



